2.B 地区委員会の構成（未来の夢）

経験豊かで熱心なロータリアンから成る地区ロータリー財団委員会は、財団に関する教育や、財団活動への参加の奨励を行う上で、地区ガバナーを支援します。また、ロータリー財団とクラブとの間の橋渡し役となります。地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員となります。

ロータリー財団委員長

委員会の機能を効果的に果たすには、指導者の継続性を保つことが大切です。このため、地区ロータリー財団委員長は3年任期で任命され、任期途中での交代は特別な事態が生じた場合に限られます。

委員長は、地区ガバナーの指揮の下、委員会と協力しながら、地区のすべての財団活動を計画、調整、評価します。

責務

- クラブと地区の参加資格認定状況など、地区のすべての財団活動について、毎月、地区ガバナーに報告する。
- すべての小委員会を監督し、その職権上の委員を務める。
- 次年度の財団地区目標を設定する前に、地区内ロータリアンの考えや意見を把握できるよう、ガバナー・エレクトを援助する。
- 地区ロータリー財団委員会の決定に基づいて、地区財団活動資金（DDF）の使用を許可する署名をする（署名人は計2名）。
- ガバナーおよび他の委員長と協力し、各委員会の活動にロータリー財団の活動が組み込まれるようにする。
- ガバナー、地区研修リーダー、地区研修委員会と協力して、地区の各セミナーを計画、実施、推進する（補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナー［PETS］）。
- 地区の参加資格認定手続きを監督し、「地区の覚書（MOU）」に記載された要件が守られるようにする。
- グローバル補助金の申請書に不備がないこと、また申請するクラブが受領資格を満たしていることを確認する。
- 新地区補助金の代表連絡担当者となる。
- クラブ・ロータリー財団委員会をサポートする。
- 財団の各賞にふさわしい候補者を選出する上で、ガバナーを援助する。

お忘れなく

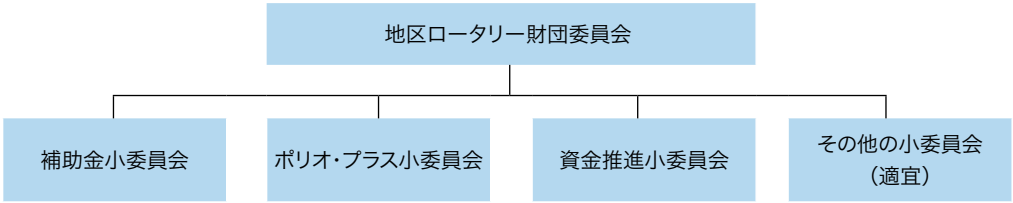
ロータリー財団は、地区ロータリー財団委員長ならびに3つの主な小委員会の委員長と直接連絡を取り合います。ロータリー平和センターに関する情報は、補助金小委員長に連絡されます。

地区ロータリー財団小委員会

地区ロータリー財団小委員会は、未来の夢計画における地区の活動に合わせて簡素化された構成となっています。3つの主な小委員会のほかにも、地区が関心を持っている分野の小委員会を追加できます。また、これまで財団委員会が担当していた責務の一部は、ほかの委員会に割り当てられています。

小委員会の委員長は、毎年ガバナーにより任命され、自動的に地区ロータリー財団委員会の委員となります。任命は、プログラムへの参加と寄付などの貢献の両面において、その人物がロータリー財団に対しどれだけ熱心に取り組んできたかに基づいて行われます。また、小委員会の空席を埋めるため委員を任命するのも地区ガバナーの責務です。

推奨される委員会構成



補助金小委員会

補助金小委員会は、新地区補助金とグローバル補助金の活用、ロータリー平和センター・プログラムへの参加を促す役割を担います。また、クラブが補助金を利用して教育的、職業的、人道的な奉仕活動に参加できるよう支援します。

責務

- 地区で、各種の人道的補助金に詳しい人物として、相談や問い合わせに応じる。
- 新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件が守られるようにする。この授与と受諾の条件についてクラブを指導する。
- 補助金資金をクラブと地区に配分するための方針を作り、これを実施する。
- クラブが補助金の参加資格を満たせるよう監督する。
- クラブまたは地区が提唱した全補助金活動について、適切な資金管理（ロータリー財団への報告を含む）が行われるよう確認する。
- 補助金関連の活動で、資金乱用や不正使用が疑われる場合はそれを財団に報告し、地元でも調査を行う。
- DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

補助金小委員会の組織方法には、いくつかオプションがあります。例えば、小委員会の中にグループ（新地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和センター）を作り、それぞれの、補助金審査、資金管理、奨学金を担当する委員を割り当てることができます。地区の関心分野やニーズに合わせて、最もふさわしい組織構成を検討してください。

補助金に関する詳細は、「6.B ロータリー財団の補助金」をご参照ください。

ポリオ・プラス小委員会

ポリオ・プラス小委員会は、ロータリーのポリオ撲滅活動について、ロータリアンや一般の人々に伝え、募金活動を実施します。

責務

- ロータリアン、クラブ、地区に、ポリオ・プラスへの寄付（DDF寄贈を含む）を奨励する。
- 1年に少なくとも1回、地区でポリオ・プラス募金活動を実施する。
- 地区ロータリー財団委員長、地区広報委員会、地区ガバナーと協力して、ポリオ撲滅のためのクラブと地区の模範的な活動を表彰する。
- 地区のロータリー財団研修の一部として、ポリオ・プラスの発表を行う際に、ガバナーと地区研修リーダーを助ける。
- ポリオ撲滅活動を実施するため、国または地域のポリオ・プラス委員会、政府機関、他団体との協力を調整する。
- DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

ポリオ・プラス小委員会の構成は、地元でのポリオ発生状況によって異なります。ポリオ常在国では、その国のポリオ・プラス委員会と密に協力し、全国予防接種日の活動や募金活動を支援します。常在国以外では、ロータリーのポリオ撲滅活動の推進に焦点を当て、資金推進小委員会とともに、ロータリーの2億ドルのチャレンジへの寄付を募ります。ポリオに関する詳細は、「5 ポリオ・プラス」をご参照ください。

資金推進小委員会

資金推進小委員会は、地区における財団の募金活動、および寄付者の認証を管理、監督します。

責務

- クラブが募金目標を設定し、これを達成できるよう、助言と支援を提供する。
- クラブや地区で募金活動を行う。
- ロータリー財団の募金活動に参加するようクラブの意欲を高め、また募金活動に関するアドバイスをする。
- 寄付者に適切なかたちで感謝の意を表するため、地区で寄付者認証行事を行う。
- DDFの配分について意見や助言を提供する。

構成

資金推進小委員会は、地区の資金推進（募金）活動に応じて、柔軟に組織することができます。例えば、小委員会の責務を、年次プログラム基金への寄付と恒久基金への寄付に分けたり、財団晩餐会、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付者、ポリオ・プラスといった具体的な任務に分けることもできるでしょう。委員の人数を決める際には、地区目標や、地区が重点を置く分野は何かを考慮に入れましょう。

募金活動に関する詳細は、「7　寄付増進活動」をご参照ください。

その他の地区委員会

未来の夢計画の一環として、財団に関する責務は、ほかの地区委員会にも割り当てられています。従って、地区ロータリー財団委員会は、以下の各委員会と密接に協力することが重要です。

地区大会委員会：全クラブが出席する地区会合で財団活動に関する報告が行われない場合は、その報告を地区大会の議題に組み入れる。

財務委員会：地区財務委員長と協力して補助金資金を配分し、報告書の作成に備えて補助金活動の記録や文書を保管する。

会員増強委員会：地区全体の学友活動を調整し、学友のロータリーへの参加と会員候補者勧誘を促進する。また、地区で学友リストを作成するか、ロータリー財団から学友リストを入手し、クラブや地区の会合の講演者として学友を招く。

広報委員会：ロータリー財団のあらゆる活動（ポリオ・プラス、補助金活動の成功、学友の活動、賞・表彰）について広報する。

RI国際大会推進委員会：ロータリー財団に関連する大会前・大会中の行事を推進する。

研修委員会：地区セミナーを計画、組織、推進する。これには、補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナー（PETS）が含まれる。また、地区ガバナーとともに、セミナーの内容、講演者、進行役を決定する。

世界各地から

ロータリー財団の学友について、地区会員増強委員会との協力方法を決めましょう。地区によっては、学友小委員会を地区ロータリー財団委員会の下に設置している場合もあります。